

廃炉工程全体の枠組み



- 第1～3期という大きな期間区分に基づいた廃炉工程。
- この枠組みは、平成29年9月に改訂された中長期ロードマップにおいても維持。
- 燃料デブリは2021年内に取り出しを開始予定。

東京電力福島第一原子力発電所では、安定化に向けた取組が続けられており、現在では、各号機ともに原子炉の冷却が維持されるなど、安定した状態が維持されています。

この廃炉・汚染水対策は、世界にも前例のない困難な事業であり、国も前面に立って、「東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所の廃止措置等に向けた中長期ロードマップ」(中長期ロードマップ)に基づき、安全かつ着実に対策を進めることにしています。

平成29年9月には、「燃料デブリ取り出し方針」を盛り込む形で中長期ロードマップを改訂しました。30～40年後の廃止措置完了の状況を想定した全体工程を立て、全体のリスク低減に基づく実施計画を立てて、廃炉作業を進めていきます。

本資料への収録日：平成30年2月28日

改訂日：平成31年3月31日